

市仏連会報

発行所

横浜市中区大平町96

光明山西有寺内

横浜市仏教連合会

電話 045(661)0166



市仏連名誉会長に 成田芳髓禅師ご就任

本年四月、前名誉会長であられました大本山總持寺前貫主梅田信隆禅師がご退任なされ、成田芳髓禅師が後任の貫主職に就かれました。慣例によりまして、成田禅師に当連合会の名誉会長にご就任いただきました。

七月九日、あいにくの雨ではありましたが、小崎竜雄県仏教会会長、横山敏明市仏連会長、滝川寛道前会長、川上敬吾副会長兼専務理事、関水俊道会報担当の各氏で、總持寺を訪ね、就任いただきました。お願いとのお礼のご挨拶に行つて参りました。

禅師様は、九十一才という年齢を感じさせないほど矍鑠とされ、健康についての話題などに花が咲き、和やかなうちに時の経つのも

忘れるひとときでした。終わりに、侍局(内寮)の入口までお見送りいただき恐縮いたしました。記念に当連合会にいただきました色紙からも、そのお人柄を感じていただけることと思います。

十月十一日、紫雲にたなびく大本山總持寺は早朝より仏旗が翻引き、荘厳なふんい気でありました。この日は市仏連名誉会長をお引き受けいただきました禅師さまの晋山式であります。

午前十時山門到着後、列をなして仏殿に拝登し、大祖堂にご入室され法語をおとなえになり、ご開山大祖常済大師、二祖大現猷国師さまに晋山のおことばをおとなえになり三拝なされ一端退堂され據室と申して方丈の間にもどられ本

山の大切が、氏鑑等を確認なされた後再び大祖堂にご上殿、祝国開堂のお儀式を営なされました。

須彌檀上におかれましては、各法語をとてもお元氣におとなえなされ、その後の禅問答は特に参列者に解りやすくお答え下さいました。下檀してからは大本山永平寺貫主吉崎奕保禅師さまよりお祝いのお言葉をおいただき、特に堅い握手をおかわされたときは大祖堂いっぱいの拍手をおびました。その後各界よりお祝いのお言葉をいただきました。真におめでとうございました。どうぞ末長く禅師さまのご法愛をたまわりますことを祈念申し上げます。



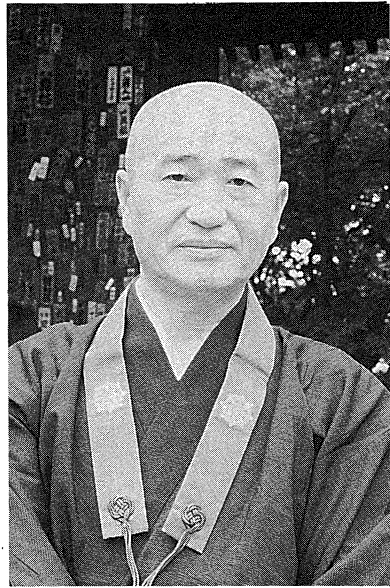
成田芳髓の印



- 写真説明
- ① 名誉会長を囲む県仏市仏連会長ら一行
 - ② 總持寺に上山する名誉会長
 - ③ 大祖堂での晋山式

市仏連会長挨拶

会長 横山敏明



今年もいろんなことがあった夏も終り、例年の通り秋が、やはり秋の顔をしてやって参りました。皆さまも忙がしい中にも、それなりの日々を過ごして今日を迎えておられることと存じます。私も後半の一年を消日しておるところでございます。

この夏、縁あってアメリカのロスアンジュルス空港に立寄ったことがあります。テロ対策と麻薬対策で入国審査は綿密なものでしたが、待たされる方にとっては大変な難行苦行でした。本当に沢山の国々の人が様々な組み合わせでアメリカに入ろうとしているのですが、入管の人達は基本的に全ての人を正しくないとチェックしなければならぬでしょう。一人或いは一組について十分、或いはそれ以上の時間をかけるので

一便をさばくのに二時間以上かかったのはおどろきました。入国して何をされるかわからないというところであれば、確かに厳重にチェックしなければならぬでしょうが、変化のない一律のチェックで何がチェック出来るのでしょうか。国内で殆んどのものが調達可能なのですから。こんな思い込みを私達はいつもしてはいないでしょうか。お坊さんだから或いは仏教を信じている人だからと安易にきめつけてはいないだろうか。

「混迷せる世相に一灯を点じて」との釈尊奉讃会の主旨は、実は私達連合会員一人ひとりの願いであり、行事でなければならぬと信ずるものであります。が、どう混迷しているのか、常に世相を正しく見る必要があると同時に、どこにどんな灯を点じなければならぬのかということも大切であり、点じる灯明をいつも持ち続け分け与えられる私の正精進こそが最も肝要と思えます。

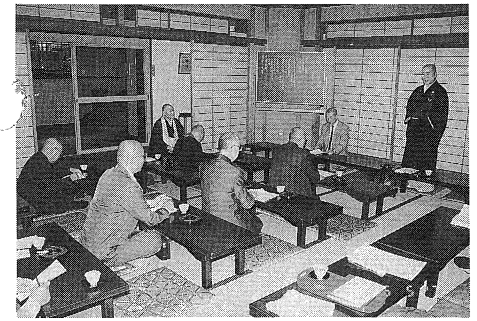
私達の営みの中で、自然が汚染されているのも事実のことであり文明を維持する為に地球資源を無秩序に使っていることも忘れてはいけません。いつか資源が部分的に枯渇することも、そんなに遠いことではなく、エネルギーも無制限に使っていけば、間もなくエネルギー源そのものを失うおそれさえある今です。自然の回復力は短い年月ではいかんともしがたい。人間の力の限界も自然の前では本

第二十三回総会開催

平成八年度横浜市仏教連合会第二十三回総会は五月二十七日午後二時から中区大平町西有寺において開催されました。

総会次第の順にいたしました。先ず開会の言葉を市仏連副会長玄野孝善師がのべられ、続きまして市仏連会長横山敏明師より挨拶をいただきました。挨拶の中で会長は「昨年の総会で選出され一年過ぎましたが会員各位の協力をいただき諸行事を無事円成することが出来ましたことに感謝申し上げます。かつて会員から百円づつの会費をいただき始めた市仏連も、今ではすっかりと充実し活動していることは大へん喜ばしいことです。」とお言葉をいただきました。引き続き議長長の選出に入りましたが本部一任ということで南港南

に小さいものかどうかというところは、種々の現象で否かというほど知らされております。未知なるものは時と同じく無限といって良い位広がっております。現状肯定でなく、事実を良く見きわめ、節度ある日暮しが、とりわけ先進国といわれる国の人々に求められていることを理解し、自らの生産物が人と自然にとつて分解できないような状態にならぬよう日々心がけ、共生さという思いを広げて参らねばと思います。私と世のもろもろの人物が一緒に仏の道を歩みますように願います。



区仏教会会長市川智彬師が選出されまして議長席につかれました議案の審議に入りました。第一号議案の平成七年度事業報告について川上敬吾専務理事が説明し、この中で主催行事の結果報告と参加行事並びに具慰靈堂出仕結果報告がなされました。第二号議案の平成七年度決算報告について会計橋下賢明師より説明がなされ、第三号議案の会計監査報告が監査役内野公雄師よりなされました。第四号議案で以上三議案の質疑応答に入り全て異議なく拍手をもって承認されました。続いて第五号議案平成八年度事業計画案の説明が専務理事よりなされました。事業のうち第二十二回涅槃会は磯子区仏教会が担当に当たっておること。市仏連会報は四十三号、四十四号が発行されること。税務問題、墓地問題の研究をそれぞれの委員会で年二回ぐらいづつ実施することが説明されました。又具慰靈堂奉仕の件で昨年の総会で要望のありました一月の出仕について、横山会長よりの説明で、どうしても都合のつかない時は代りに引受けて下さる方をお願いしてありますので、一月に当番が当たった区仏ではやむをえず出仕出来ない該当区仏は早めに連絡をしてほしいとの解答がございました。第六号議案で平成八年度予算案の説明が会計よりなされました。第七号議案で以上二議案について質疑応答がなされた結果、両議案とも原案通り可決されました。第八号議案で今年度で役員任期が満了となるので次年度役員選考委員を決めなければならず、ローテーション通り中、鶴見西、南港南、港北の各区仏会長が選考委員に就任していただくことになりました。尚選考委員会は新

中での主催行事の結果報告と参加行事並びに具慰靈堂出仕結果報告がなされました。第二号議案の平成七年度決算報告について会計橋下賢明師より説明がなされ、第三号議案の会計監査報告が監査役内野公雄師よりなされました。第四号議案で以上三議案の質疑応答に入り全て異議なく拍手をもって承認されました。続いて第五号議案平成八年度事業計画案の説明が専務理事よりなされました。事業のうち第二十二回涅槃会は磯子区仏教会が担当に当たっておること。市仏連会報は四十三号、四十四号が発行されること。税務問題、墓地問題の研究をそれぞれの委員会で年二回ぐらいづつ実施することが説明されました。又具慰靈堂奉仕の件で昨年の総会で要望のありました一月の出仕について、横山会長よりの説明で、どうしても都合のつかない時は代りに引受けて下さる方をお願いしてありますので、一月に当番が当たった区仏ではやむをえず出仕出来ない該当区仏は早めに連絡をしてほしいとの解答がございました。第六号議案で平成八年度予算案の説明が会計よりなされました。第七号議案で以上二議案について質疑応答がなされた結果、両議案とも原案通り可決されました。第八号議案で今年度で役員任期が満了となるので次年度役員選考委員を決めなければならず、ローテーション通り中、鶴見西、南港南、港北の各区仏会長が選考委員に就任していただくことになりました。尚選考委員会は新

年早々開催されますとの説明が専務理事よりなされました。第九号議案仏跡参拝旅行の件は六月八日川越喜多院参拝を実施いたしますとの報告がありました。第十議案その他のところで本年四月実施した各區仏役員と市仏連役員との合同懇親会が大変意義があったので本年度も実施することを提案可決されました。以上で議案審議はと

第二十一回釈尊涅槃会修行

横浜市仏連主催・釈尊奉讃会協賛
平成八年二月十日(土)開催。
西區仏教会当番、会場・勤行寺。
午後一時受付、一時半法要開始
開式のこぼ、玄野市仏副会長、
入堂、三礼、三帰依文、
導師表白文・横山敏明市仏会長、
読経・観音経偈文(回し焼香)、
回向文・都築哲信西區仏会長、
三礼、退堂。十五分休憩後式典。
会場の西區南軽井沢九の法華宗陣
門流の勤行寺様(都築哲信住職)
は横浜駅西口から徒歩十分、現代
建築の本堂、工夫を凝らした客殿
に僧檀が百名余り参席した。本尊
前に勤行寺様蔵の年代物の涅槃図
が掛けられてあった。西區仏教会
の諸寺院諸大徳を始め勤行寺様関
係者の心温かい接待の中に、式典
宮林講師の四十分間の素晴らしい
話術と感銘深い内容の法話、閉式
の言葉へと進み、次に関係者の反
省会を持ち、午後五時頃に滞りな
く第二十一回涅槃会行事を終了し
散会となった。

どおりなく終了し、玄野副会長が閉会の言葉を述べて第二十三回総会は無事終了することが出来ました。少々休けいした後懇親会をもちながやかにうちに午後五時一同散会いたしました。
会場の西有寺さまにはいつもながら大へんお世話になり心から感謝申し上げる次第です。

式典は横山敏明市仏連会長が挨拶をし、来賓祝辞が泉仏教会事務局長の本間孝康師。西區仏会長・会処寺院の都築哲信師と市釈尊奉讃会事務局局長・程木徳明師が各々の立場で話をされ、司会の玄野孝善市仏副会長が講師紹介をされた。

記念講演

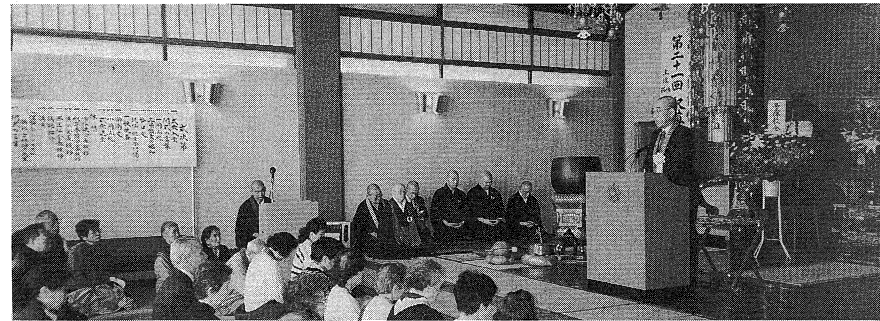
宮林昭彦先生

涅槃会はお釈迦さまが入滅された、一般的には亡くなられた日である。お釈迦様の教えは生老病死の四苦からの解放、解脱である。その基本に諸行は全て変化する、移り変わるという無常観がある。仏になったとか往生したとかは、あの人は死んでしまったというよくな使い方をし、老病死を私達は厭い嫌って過ごしている。しかし生きていくから死ぬのである。全ては無常の中に過ぎ去っていく、だから今を大切にしないさい。すべての命を大切に、殺す勿れ。怠ることなく精進せよ、一生懸命

に生きなさいとはお釈迦様の教えである。仏様とは目ざめた人、覚者で、宇宙の真実を理解された、法(ダルマ)を悟られた状態の人をいう。
弘法大師空海上人の言葉「生まれ生れ生まれ生れ生まれて生の始めに暗く、死に死に死に死んで死の終りに冥し」とのべられた。私達は生きていくといながら、目ざめた生活が出来にくい、しかも死と私達は皆、背中合わせに生きていく。

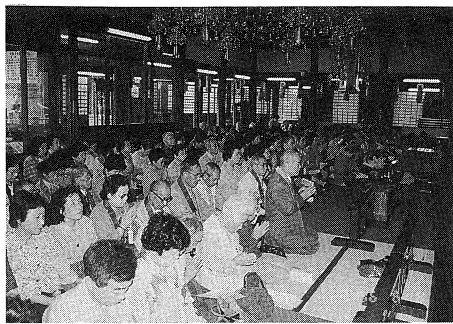
涅槃とはニルバーナの音写である。煩惱の火を消して心静かに全てを受け入れる精神状態のことである。四苦の娑婆(シャバ)を忍土と中国語訳にされた。まさに耐えねば生きられない世間だが、やはり限界があると思う。死に行く身であるから生きてある者はどう生きるか、人生の楽しみ味わいどう考えるかというのがお釈迦様の教えである。たとえ覚者であっても生ある者は必ず滅すること八十歳で死去し、体でもって示された。私達と違うことは永遠の寿命、いのちの中に生き続けられていることである。道元禪師曰く「この生死は即ち仏の御命なり。これを厭い捨てんとすれば、即ち仏の御命を失はんとする也」と。仏教ではおかげさまと云い最近の共生(ともいき)の言葉に表わされる、色んなお力をいただいている考え方である。命を大切にしているのが仏教の不殺生戒である。しかし他の生物の命を貰わねば私達は生きてゆかれない。矛盾の行為である。

そこで命をむやみやたらと取らない、慈しむ、哀れむ心を持ち、おかげさま、いただきます、ありがとうございます、ごちそうさまと懺悔と感謝の念で食事をすべきである。物の命を粗末に扱うということは仏様の命を粗末にすることと同じである。地球環境の破壊につながる。



善光寺の無常詣りは人は死ぬと裏山に帰っていき、戒壇巡りで極楽の鍵を握ることは、浄土で仏様先祖に会うことができるという信仰である。今、仏教者も脳死や臓器移植、ターミナルケアの命の問題に取り組んでいる。ホスピスとかパレアの活動である。終末医療では医薬品のこの限界に、看護婦さんが病人の手に接し、体をさする看取りという精神療法を施す。和尚とか牧師が死を通して生まれていく処、灰になりパァッと消えるのではなくて仏様の国へ生まれ生きていく、きちんと永遠の生命へ帰っていく、安心して浄土へ天国へ生まれるのだと説く。お釈迦様が、必ず四苦があり、その中で迷い生きる、生死を超えて生きる、生かされて生きる、あなたにおまかせしていきることを説かれている。まさに涅槃会というのは命を考え、生きようを思い起こす行事であり、永遠のいのちの存在の信仰を育てる場であってほしいと思う。生あるものはいつか必ず死ぬのだから。仏教詩人の坂村真民さんは念ずれば花開くという詩を書かれた。人間は所詮、孤独であるから、さみしい時もあるう、嬉しい時もあるだろう。悲しい時には悲しみを、嬉しい時には喜びを分かち合って共に生きてゆくことが大切なような気がする。

オウム真理教のましがった布施の強要が大問題になった。今日は皆様方にお金のかからない無財の七施というお布施を差し上げるので、お土産にお持ち帰り下さい。先ず眼施(がんせ)、やさしい、すずやかな目でみていただく。和



六月八日、恒例の市仏連仏跡参拝が川越、秩父方面を目的地として行われました。バス五台、二二名の参加をいただき、埼玉県の美しい自然とともに由緒ある仏跡文化財を訪ねて参りました。

市仏連仏跡参拝

川越・秩父の旅

顔施（わがんせ）、和やかな笑顔。身施（しんせ）、体で施しをする。日常生活の中で、ちょっとした荷物を持ってあげるとか。そういう気持を起すのは心施、心の施しである。ことばの施しの言辞施（ごんじせ）。席を譲る床座施（しょうざせ）。七番目が房舎施（ぼうしゃせ）は、家で客を待っていて、来訪客にくつろげる環境を作ってあげる。こういう気持で布施をすることを釈迦様は教えられている。よりよく生きることが涅槃会の心である。

六十年間、夫婦で離婚沙汰にな

るような喧嘩をしたことがないという夫妻にあった。その秘訣はと尋ねた。夫は「ゴメンネ」と一言をいう。妻は、許してあげるといふ意志で「良かったネ」といってあげる。そういう言葉で六十年間持ちましたといわれた。

むずかしい世の中であるけれど、生きていて良かったなあと楽しい生き方を心がけたいものである。人生は転ぶような時もあるが、一つの喜びに掴まって起きあがり、生きることが大切であると思う。どうぞ、お元気で過ごし下さい、ありがとうございます。

はじめに、徳川家光生誕の部屋が保存されており喜多院、川越大師を参拝いたしました。美しい庭木の整備された境内に、数多くの仏跡、史跡があり、時を忘れてしまいます。特に五百羅漢の石仏の顔には、長い風雪を越えたあたたかなぬくもりがありました。ご住職も横浜から大勢の熱心な参拝者が訪れたことに感心され、予定時間を越えて、親しく、熱のこもったお話をして下さいました。

続いて秩父を訪れ、秩父神社・まつり会館で、秩父の祭り、文化について見聞を広めました。その後、楽しみにしていた長滞のライン下りでしたが、水不足のため、岩畳の前を一周するだけとなりました。しかし、薄く層を成す岩肌は圧倒する迫力で、一見の価値がありました。



市仏連活動の活性化を発起するために、区仏役員の皆様方の交流회가、四月十一日、十二日に箱根湯本かじか荘で行われました。懇談会では、横山会長より、今後の行事予定、市仏連活動の展望等について、また、宗教法人法改正に伴うことからの説明があり、程木釈尊奉讃会事務局長からは、奉讃会の活性化についてのお願いがありました。出席の皆様からも有意義な意見が出ました。その中

各区仏役員交流会

に、区仏の活動が盛んな区は市仏の行事に参加しにくいとの声もあり、意義づけ、日程の配慮等、今後のそれぞれの企画、運営の上で貴重な意見となりました。

出席寺院は次の十八ヶ寺です。

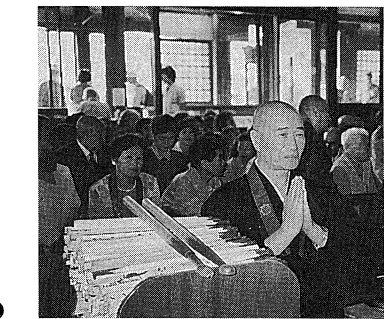
西有寺・長昌寺・浄念寺・宗忠寺
長見寺・勤行寺・興禅寺・寿量寺
善龍寺・中田寺・最勝寺・金蔵寺
東照寺・西蓮寺・本覚寺・正福院
西福寺・東泉寺



波滞の影響もあり、帰りは九時を回る方々も多かった一日でしたが、熱心な参加者各位のお心により、今年も実り多き参拝旅行となりました。

参加寺院は次の町りです。

長昌寺・東泉寺・海照寺・安養寺
松蔭寺・西有寺・本妙院・東照寺
保福寺・観音院・正覚院・常真寺
陽林寺・西福寺・徳善寺・宝蔵寺
最勝寺・妙光寺・善昌寺・宗川寺
大善寺



写真説明

- ① 涅槃会法要（勤行寺本堂）
- ② 川越喜多院にて勤行
- ③ 五百羅漢とご対面
- ④ 喜多院にて導師を勤める会長
- ⑤ 秩父長滞舟下り
- ⑥ 秩父夜祭山車



●心の知能指数

IQは知能指数ですが、EQが話題を呼んでいます。Eはemotion(感情)の略で、EQとはいわば「こころの知能指数」と言えます。「EQ」と「こころの知能指数」ダニエル・ゴールマン著(講談社)によれば、人生を最終的に大きく左右する能力はIQではなく、自分自身の感情をコントロールし、他人との関係をうまく処理できる知性(EQ)であると言っています。オウムの一連の事件に関与した信者が、IQの高さに比べてこのEQが低かったとすれば、納得できます。EQ度を判定する基準には、次の五つが上げられています。

話 材 紹 介

- (1) 自分自身を知る：自分の感情を客観的に冷静に見る能力。
- (2) 感情を制御する：不快な感情を楽観的に考えられる能力。
- (3) 自分を励ます：目標に向かって熱意や忍耐を維持する力。
- (4) 他の痛みを知る：他人の欲求を敏感に共感できる能力。
- (5) 社会的知性：その場に合わせた生産的行動がとれる能力。

これらの内容を指摘するEQという考えは、アメリカでブームを呼んでいるようですが、よく調べてみると実に東洋的であり、仏教の理念と共通するところが多い気がします。前判の(1) (3)は自利行

と呼べるような「禪定・止観・持戒・精進」といった概念と共通するものがあります。また、後半の(4) (5)は利他行とも言える、慈悲・布施・和顔・愛語・利行・同事といった精神に相通するものです。本文にこんな一文があります。「：衝動のままに動けば(自制の努力をしなければ)倫理を欠くことになる。：他人の欲求や苦境が理解できなければ、他人に対する思いやりは生まれようがない。いまの時代が何より必要としている倫理は、まさにこの自制と共感だと言っています。いじめ問題の解決にもまさに有効な手だてと言えます。」このEQは、人生をより有意義

と云った心の改革を説く本が出回っています。それだけ心のあり方を求める声が高い証拠でもありません。仏教を現代の生活の中に敷衍して説き明かすまたないチャンスでもありません。

●インターネットと布教

コンピュータによる通信の利用が急速に進んでいます。インターネットというシステムは、電話回線を使って、国内はもとより世界の様々な情報を得ることができるといふのです。宗教の分野でも利用が活発化しています。「月刊住職」8月号には、「仏法僧はどう生きられるか」と題して様々なインターネットの利用状況が紹介されています。当連合会所属寺院でもあります港南区真昌院の副住職亀野哲也氏もこの分野の先駆的な方で、活躍の様子が紹介されています。

このインターネットによる布教は、今まで縁が薄くなりがちでした青年層、一般中堅層への呼びか

●宮沢賢治「雨ニモマケズ」

雨にも負けず 風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けず 丈夫なからだを持ち 欲はなく 決して臆らず いつも静かに笑っている 一日に玄米四合と みそと少しの野菜を食べ あらゆることを 自分を勘定に入れず よく見聞きし判り そして忘れ 野原の松の林の蔭の小さな萱ぶきの小屋にいて 東に病気のこどもあれば 行って看病してやり 西につかれた母あれば 行ってその稲の束を負い 南に死にそうな人あれば 行ってこわがらなくともいいと

今年、宮沢賢治の生誕一〇〇年にあたります。賢治は、いうまでもなく、こよなく法華経を愛し、仏教の信仰に生きた方でもあります。有名な「雨にも負けず」の詩も改めて読んでみますと、私達の説きまします仏道の奥儀を感じさせてくれます。また、各童話の中にも話材となるところがあるように思

けの正にせり札とも言えるでしょう。さらなる願いとすれば、気軽にお寺に足を運んでくれたり、正しい仏法の信仰につながってほしいということであろうかと 思います。

各宗派の窓口(月刊住職より抜粋)

宗派名	サイト名/ホームページの名称(上段) アドレス/アクセスの番号(下段)
天台宗	電腦寺院、厄払い安来清水寺 http://www.bekkoame.or.jp/~benkei/
高野山 真言宗	高野山山室院 http://www.threesweb.ad.jp/~hozenin/
真言宗 智山派	真言宗智山派川崎大師ホームページ http://www.sphere.ad.jp/daishi/
真言宗 豊山派	お寺の和尚さん http://ec3.aimcom.co.jp/~tera/
浄土宗	パーチャル寺院：善照寺 http://www.bekkoame.or.jp/~imaoka/
浄土真宗 本願寺派	圓寿寺 http://www.asakanet.or.jp/~bakabon/
真宗 大谷派	真宗大谷派吉田御坊ホームページ http://www.tcp-ip.or.jp/~yagobou/
日蓮宗	NICHIRENSHU www.pacifier.com
臨済宗	臨済宗南禅寺派宝壽院 http://www.kani.or.jp/hojyuin/home.html
	ALF 仕事の部屋 http://www.bekkoame.or.jp/~alf/job.html
曹洞宗	全国曹洞宗青年会ホームページ url://www.meshnet.or.jp/soto/
	曹洞宗真昌院 http://www.win.or.jp/~kameno/

私はなりたいたい

横浜市市仏教連合会平成7年度収支計算書

収支差年 平成7年4月1日 至 平成8年3月31日

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, Δ. Rows include ①会費収入, 1. 会費, ②雑入金, ③過年度収入金, ④前年度繰越金, ⑤収入合計.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減 Δ. Rows include ①総務費, ②需要費, ③事業費, ④助成金・負担金, ⑤雑支出金, ⑥予備費.

次年度繰越金 708,308 円 平成8年3月31日

上記のとうり収支決算書を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 横山敬明

監査の結果相違ない事を認めます 会計 橋下賢明 監査 野次陸幸

横浜市市仏教連合会平成8年度歳入歳出予算書

歳入歳出引当額 平成8年4月1日 至 平成9年3月31日

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減, Δ. Rows include ①会費収入, 1. 会費, ②雑入金, ③過年度収入金, ④前年度繰越金, ⑤収入合計.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減 Δ. Rows include ①総務費, ②需要費, ③事業費, ④助成金・負担金, ⑤雑支出金, ⑥予備費.

平成8年4月1日

上記のとうり歳入歳出の予算案を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 横山敬明

会計 橋下賢明

支部だより

港 北 区

二月二十四日、四月の花祭り
に備えて例年の通り新年度総会を聞
き、行事計画、予算算等を議決。

四月六日(土)午後二時から東
照寺会館で花祭り(各寺檀信徒、
ご詠歌講、幼稚園児、地元子供会
参加)式典の後、釈尊花御堂をの
せた白象を引いて東急綱島駅頭で
阪神大震災募金、さらに行列はこ
の日開催中の綱島公園「さくら祭」
の会場へ行き、再び募金して、金
七四、六〇九円があつまり、区仏
教会から補充して十万円を即日神
奈川新聞社に寄託。

六月二十六日(水)区仏税務研
修会を東照寺客殿で神奈川税務署
の御指導により開催、テーマは「
寺院税務の現状と問題点」。終っ
て「花火大会、灯籠流し」の件。

七月二十六日(金)「第十三回
鶴見川花火大会」が実施され、区
仏は例年の通り「灯籠流しの部」
に参加、本会会員が般若心経を読
誦する中を、二六九灯の灯籠が
座禅会員、ご詠歌講員、地元有志
の方々の手で組み立てられ点灯さ
れて川面を流れていったのである。
灯籠が流れ終るころ、空には一時
間十分に渡る花火が満天を彩った。

金 沢 区

3・2 花まつり臨時総会 於長
昌寺
4・6 花まつり六浦大会準備会
4・7 第50回 六浦地区花まつ
り大会 会場 六浦の長生寺 稚

児33名 十九ヶ寺主任 主任・泥
牛庵
4・30 区仏理事会 平成七年度
決算報告 八年度予算案 八年度
仏教文化講演会の件等協議

5・20 区仏総会 会場 稱名寺
5・27 富岡・悟心寺本堂落慶法
要厳修 導師・臨濟宗建長寺派管
長 狛下 区仏三役等出席
6・4 東朝比奈千光寺住職小野
正善師遷化
6・14 釈尊奉讃会日帰り参拝旅
行 水戸方面 バス3台 96名参
加 主任・光伝寺

7・6 千光寺住職小野正善師本
葬 導師鎌倉光明寺法主台 三
役出席
8・27 龍華寺前任職和田仁雅師
遷化
8・31 同本葬 導師・真言宗御
室派管長仁和寺門跡狛下 三役出
席
9・7 仏教文化講演会 於金沢
公会堂 午後六時開場 「シンセ
サイザー」の演奏と仏讃歌「西村直
記氏と区仏のご詠歌講、「聖路を
めぐって」四国八十八ヶ所を巡っ
て思うこと」女優の左幸子さん、
聴衆550人、二十一ヶ寺出席。

9・30 区釈尊奉讃会理事会 午
後三時 於金沢園 三役出席
二月二日 新年会 本年は横浜
中華街で開く。宗派を超えて融和
と親睦がはかられている。

瀬 谷 区

三月二十五日、長天寺に於て総会。
役員の改選が行われた。その結果、
長年会長を務められた徳善寺住職
尾崎正憲師、総務の長天寺住職、

三田裕道師、会計の西福寺住職、
備前恭忍師が退任され、後任役員
が決定就任した。
会員及税務委員、最勝寺住職、柳
沢柳丸師。

副会長、宝蔵寺住職、青木大憲師
副会長、宗川寺住職、井手教道師
総務会計、妙光寺住職、秋山智謙師
墓地委員、長天寺住職、三田裕道
師。
尚、尾崎正憲師は顧問として、今
後当会発展の為に尽力を願った。
四月五日、県慰霊堂に奉仕出仕。
尾崎正憲師の法話に参拝者深く感
銘。

六月八日、市仏連合春の参拝旅行
に各寺あわせて四十八名が参加。
楽しい一日を過ごした。
その他、市仏連開催の各行事に参
加。

泉 区

当仏教会では、順番に泉区内の
寺院のご紹介をしております。今
回は上飯田町の無量寺のご案内を
させていただきます。
当寺は、過去帳や古文書を焼失
してしまい、正確な縁起は分って
おりません。

「相模風土記稿」には「帰命山
長寿院ト号ス。浄土宗。鎌倉大町
安養院末。本尊阿弥陀如来ヲ安ス。
開山ハ善如。承応二年四月六日寂
倉安養院第十九世梁蒼吾上人。
開基は木村左門氏。文禄二年(一
五九三年)創建とあり、一致しま
せん。
開山創建は他所であって、本堂
等建物を焼失して、古くより小さ

なお堂のた現在地に移転、再
建されたと伝えられております。
また、旧大山街道に面していた
関係で、大山信仰の道者の墓とい
われる墓石がいくつもありました。
現在は整理して無縁の墓にまとめ
て納め供養しております。

先代住職の入山の当時(昭和十
六年)は無住の寺で、とてもお寺
とは見えない程荒廃していたよう
です。境内には、樹齢六〇〇年と
いわれるいちじょうの大樹があり、
近所では、無量寺というよりも、
いちじょうの寺で通っています。

栄 区

当寺は五峯山一心院證菩提寺と
号す真言宗の寺で、草創されたの
は源頼朝が治承四年(一一八〇年)
八月、小田原の西南にある石橋山
にて、旗上の合戦に敗れたとき、
若い命を捧げて頼朝に尽くした、
岡崎四郎義実の嫡男、佐那田与一
義忠の霊を弔うため文治五年(一
一八九年)に頼朝が建立し開山は、
大進僧都宗弁とつたえられる。当
寺が建られた直接の目的は、義忠
の追福にあったが、一つにはここ
が鎌倉の東北鬼門にあたるからで
あって、頼朝は当寺を鎌倉の守り
とし戦略的に重要な道ぞいにある
当寺が幕府の監視所の出先機関と
しての性格をもつようになる。創
建当初の證菩提寺は広大な寺域に
壮重な伽藍がまえられ、本堂に
は仏師運慶の弟子の作といわれる
阿弥陀如来を安置し仕える供僧は
七坊十一供僧であったという。源
氏が滅び北条氏の支配下におかれ
てから後は嘉禎元年(一二三五年)

保 土 ヶ 谷 区

保土ヶ谷区仏教会では常に行
事を開催する時は、同奉讃会と活
動を共にしている。奉讃会員は同
区内の寺院各寺から五〜十名程度
選出し奉讃会を組織している。
奉讃会会則によると任期は二年
で仏教会長の檀家より奉讃会長を
仏教会副会長の寺から同奉讃会副
会長の選出となっている。

平成八年度では長昌寺住職玄野
孝善師が会長、副会長には三仏寺
住職吉川瑞光師、同天徳院住職中
島旭明師と内定している。よって
奉讃会長は清水正一殿、内田計作
殿、小谷甲子殿が推選され、四
月八日釈尊花まつりの法要をして
記念講演の後総会で決定した。
四月二十二日には仏教会総会を
桃谷楼にて開催新役員承認、事
業報告事業計画予算決算をどど
うりなく円成した。

五月十一日は仏跡参拝旅行で板
東観音まいり茨城県観音寺と
村松山虚空蔵堂と佐竹寺を参拝バ
ス五台で無事円成した。
六月二十二日は畠山重忠公の
慰霊祭を旭区観光協会と合同で実
施、法要の後御詠歌や民謡等のア
トラクションも催された。九月十
七日税務問題の研修を開催した。

この度県庁私学宗教課より宗教法人法の改正についての書類がとどきました。公益法人については貸借対照表、損益計算書を平成十年の七月末日までに提出する通達ですが、一方税務署からも同じような通達が来ている寺もあります。県の方からの通達は文化庁から、税務署は国税庁からの通達で両方には見解の相違がかなりあります。そこで両者に意見を聞いてみますと、上からの通達なので！というばかりです。我々末端寺院は二通りの書類を作成し提出しなければならぬという矛盾が起る行政の改善を要望します。

そこでこの度、日本宗教連盟は平成八年十月二日に国税庁長官あ

税務調査改善について

て意見書を提出しましたのでその一部をここに記載します。

「ここ数年各地において宗教法人に対する行き過ぎた税務調査及び法定外文書による調査が行なわれていますが信教の自由と政教分離の原則に抵触するおそれがありますので改善処置を講じられますよう意見を申し述べます。

宗教法人は税法上公益法人等の一つとして位置づけられますが憲法で保障されている信教の自由を尊重する趣旨から、日本宗教連盟では税の運営執行にあたって画一的な処理ではなく宗教法人の特性に配慮した執行をするよう訴えてきました。とりわけ法人税基本通達の一部改正についてが発表され

てからは同通達が公益法人等への課税を通じて信教の自由と政教分離原則の侵害につながる懸念を表明し国税庁長官に慎重な税務行政の実施を要望しました。

法人税基本通達一五―二―一四（公益法人等の確定申告書の添付書類）については、昭和五十七年五月二八日、当連盟と小山昭蔵国税庁次長の会談により「各宗教法人が公益事業と収益事業とを区分経理することにより上通達を宗教法人には適用しない」旨を確認しております。しかし最近の税務調査ではこの申し合せが徹底されず、収益事業を行っている宗教法人に対して、非課税となっている公益事業にまで立ち入って調査を行う

傾向が顕著となっております。また源泉徴収税の対象となる役員や職員の所得についても、あたかも所得隠しがあるかのような偏見にもとづいた調査を受ける側の受任義務をはるかに越えた犯罪調査としか解釈できない調査がふえてきておきます。最近の調査では宗教法人法を全く知らない税務署員が多

く、この結果宗教法人にとって最も聖なる場所に踏み込んだり檀信徒名簿や過去帳など宗教上のプライバシーや人権問題に関する資料の提示を強引に求めるケースが増えています。これらの行為は宗教活動に對する国家権力の介入であり断じて許されるものではありません。日本宗教連盟、宗教界と課税

庁の問題における摩擦を避けるため昭和五十八年五月二八日の申し合せの再確認を求めるとともに国税庁及び各地の国税局に對して強く要望いたします。

この様な資料を金花舎からいただきましたので、ここに記載いたしました。

奉讃会だより

平成八年五月十一日の総会で、宇野忠夫会長が御退任された。昭和五十四年十月の本会創立以来、十七年間会長職を務められた。新会長・萩（おぎ）正義、副会長に鈴木敬一郎、増島和亥の三氏が就任しました。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

秋の仏跡参拝の旅について
市釈尊奉讃会主催、市仏連供催の琵琶湖周辺の古寺を順拝する旅を平成八年十月二十九日（火）三十一日（木）二泊三日の予定で実施致します。費用は八万円也です。長浜、秀吉博覧会、大通寺、渡岸寺、発心寺、小浜に宿泊。二日目は妙楽寺、明通寺、羽賀寺を参拝し琵琶湖宿泊。三日目は比叡山延暦寺、京都市内で昼食、西本願寺参拝。NHK大河ドラマ『秀吉』の舞台は琵琶湖周辺が中心です。その湖畔の古きみ仏のおわす古寺、三方五湖、若狭の海、余呉の海、比叡山、京都を巡拝します。市仏連会員寺院のご住職様方には何かと、当会にご支援を賜わります。どうぞ檀信徒、寺族の方々におすすめぐりださって、多数の方

のご参加をお願いします。

お知らせ

平成八年十二月二日（月・先勝）場所 於関内・筑葉（つくば）時間 五時理事会、六時忘年会事務局から、略図を書いた案内を出し、顧問の歴代会長や弁護士にも出席をお願いした。各区仏からも諸役の出席を期待申し上げます。

第二十二回釈尊涅槃会は、磯子区仏教会が担当で、平成九年二月に開催の予定である。市仏連役員と磯子区仏との間で、数回打ち合せ会を持ち、各区仏会長様を通じて詳細をご連絡、ご案内の予定。その節には多数の僧檀のご参加をお願い申し上げます。

泉郷靈堂出仕当番表

8・10・7	緑青葉区仏教会
8・11・5	南港南区仏教会
9・1・6	光明寺北條祐勝師
9・4・7	神奈川区仏教会
9・6・5	西区仏教会
8・3・4	市仏連発 市仏 区仏役員合同研修懇親会開催案内
8・4・4	祝電鶴見区仏花まつり
8・4・11	市仏 区仏役員合同研修懇親会 於湯本河鹿荘
8・5・1	市仏連発 総会案内配布のお願ひ
8・5・10	市仏連発 常務理事会 理事会開催案内
8・5・27	理事会 常務理事会於西

事務日誌

祝電鶴見区仏花まつり
市仏 区仏役員合同研修懇親会 於湯本河鹿荘
市仏連発 総会案内配布のお願ひ
市仏連発 常務理事会
理事会開催案内
理事会 常務理事会於西

編集後記

◎ 市仏連会長横山敏明師には大変お世話になって市仏連も親睦がますます深くなって来た。新しい宗教ができ、またかつ宗教法人法が改正される等世は非常にけたたましく変化しようとする中で概存の仏教がお互いに手をとり合っていくことは、これからは絶対必要である。

そんな時世会長の努力は大変な事であるが特に若い僧侶の育成が大切である。ここに専務理事補佐として浄土宗見光寺住職林田慎成師が就任していただいた。御活躍を期待している。

◎ 今年の十二月には選考委員会が発足する。有望な人材を市仏連に送り込んでほしい。

◎ 今回会報の発行が遅延したのは本会名誉会長の普山式と税務問題の二点の為である。会員諸師の御理解をお願いする。

第二十三回総会於西有寺
市仏連発 墓地並税務委員推選依頼
市仏連仏跡参拝旅行
川越喜多院
市仏連参拝反省会於四川飯店
市仏連発 奉讃会だより 配布のお願ひ
市仏連発 会報原稿の依頼
諸役会開催 於西有寺
会報四十三号編集作業 於長昌寺 玄野孝善師 備前恭忍師 関水俊道師